

獅子舞について

獅子舞は、アジアに見られる文化で、8世紀頃に中国から伝来し、次第に日本的な要素も加わって今日に至るとされています。現在も日本全国で見られる民俗芸能ですが、その芸態や時期は地域ごとによって異なります。

野々市の獅子舞はいずれも巨大な胴体に蚊帳を被せる加賀の大獅子に分類され、10月の祭礼時に行われます。

獅子舞の演舞は、いずれも棒振りが獅子を退治する「獅子殺し」を演じ、その棒術は半兵衛流とされていますが、棒振りや獅子の所作は地区ごとによって異なります。

また、本町地区の獅子舞や野菜神輿の巡行が同日に開催され、それぞれが路上で出くわすと「アワセ」と呼ばれる共演を行います。獅子舞同士の場合は互いに相手方の獅子を討ち取り、野菜神輿が獅子舞と出会った場合は獅子の演舞に合わせて神輿が場を盛り上げます。



本町地区 四丁アワセの様子
(平成 29 年 (2017))

